

207. 家庭での規則違反・規則無視 : (A-3)

「おうちではどうですか」

⇒ 大人の要求や規則に従うことに積極的に反抗または拒否する 4 3 2 1 207
OP*

208-225. 問題行動 :

「問題児と思われたことがありますか」

(208. は省略)

(もし、問題児と思われたことがあれば、次のように尋ねなさい) :

「どうしてあなたは問題を起こすと思われているのですか。(今までに罪を犯したことがありますか)」

(記述する)

(不十分なところがあれば、次のようにたずねる) :

「子どもがよく起こすような困ったことについてきかせてください。あなたは次のようなことをしましたことがありますか」 :

209. 言い争い : (A-2)

「他の人とよく口論をしたことがありますか。(口答えをする、生気な口をきくと言われる)」

⇒ しばしば大人たちと口論する

4 3 2 1 209
OP*

209a. 悪態 :

「よくのしつたり、悪い言葉を使ったことがありますか」

⇒ しばしば悪態をつき、ひどいな言葉をつかう

4 3 2 1 209a

210. 家出 : (A-14)

「一晩中、家を空けたことがありますか。何回ありますか」

⇒ 一晩中、家を空けたことが少なくとも2回あった、もしくは家に帰らないことが1回あった

4 3 2 1 210
CD*

211. 嘘 : (A-11)

「嘘をよくつきますか」

⇒ 持続的/慢性的虚言 (性的もしくは身体的虐待を避けるためではなく)

4 3 2 1 211
CD*

212. 窃盗 : (A-12)

「他のひとがみていないときに盗んだことがありますか。」

⇒ 被害者と面と向かうことない窃盗 4 3 2 1 212
CD*

213. 無断欠席 : (A-15)

「学校をさぼることがありますか。しばしばですか」

⇒ しばしば学校を怠ける 4 3 2 1 213
CD*

215. 強奪 : (A-6)

「他の人からお金を奪し取ろうとしたことがありますか」

⇒ 強奪 4 3 2 1 215
CD*

216. ひったくり : (A-6)

「財布をひったくったことがありますか」 ⇒ ひったくり 4 3 2 1 216
CD*

217. 強盗 : (A-6)

「強盗をはたらいたことがありますか。(すなわち、誰かを傷つけると脅して盗むこと)」

⇒ 強盗 4 3 2 1 217
CD*

218. 暴力的な喧嘩 : (A-2)

「よく取っ組み合いの喧嘩を他の人と始めますか。他の人をなぐったことがありますか。」

⇒ しばしば取っ組み合いの喧嘩をはじめ、もしくは子どもは、暴力的でないことで怒らされたときにも暴力で対応するのが当然と思っている

4 3 2 1 218
CD*

218a. いじめ : (A-1)

「あなたは、しばしば、他人をいじめますか？」

⇒ しばしば他人をいじめ

4 3 2 1 218a
CD*

219. 他者への身体的虐待 : (A-4)

「人をなぐったり、残酷なことをしたことがありますか。その人は本当に傷を負ったり、またはあなたがその人を本当に傷つけようとしたか。」

⇒ 人に対して身体的に残酷であったことがある 4 3 2 1 219
CD*

219a. 動物虐待: (A-5)

「動物をなぐったり、残酷なことをしましたか。その動物は本当に傷を負ったり、またはあなたがその動物を本当に傷つけようとしたか。」
⇒ 動物に対して残酷であったことがある 4 3 2 1 219a CD*

220. 武器の使用: (A-3)

「武器（銃やナイフのようなもの）で誰かを脅すとか、喧嘩で、誰かに武器を向けたことがありますか？」
⇒ 喧嘩で武器を使用したことがある 4 3 2 1 220 CD*

221. 性行為の強要: (A-7)

「年長の男児だったら、次のように尋ねなさい」：「レイプのかどで告発されたことがありますか。誰かに性行為を強いたことがありますか？」
⇒ 性行為を強いたことがある 4 3 2 1 221 CD*

222. 強盗: (A-6)

「背後から襲う強盗をしたことがありますか。（すなわち、強盗をしようという目的で、他人をひどく殴る）」
⇒ 背後から襲う強盗 4 3 2 1 222 CD*

223. 破壊行為: (A-9)

「破壊行為をしたことがありますか。（所有物を破壊したことはありませんか。）」
⇒ 破壊行為-他者の所有物を故意に破壊する 4 3 2 1 223 CD*

224. 不法侵入: (A-10)

「家、車、建物に侵入したことがありますか？」
⇒ 不法侵入 4 3 2 1 224 CD*

225. 故意の放火: (A-8)

「放火したことがありますか？」
⇒ 故意の放火 4 3 2 1 225 CD* (226. は省略)

226a. 執念深さ: (A-8)

「あなたは、あなたを怒らせた人に仕返ししようとしていますか？」
⇒ しばしば意地悪で執念深い 4 3 2 1 226a OP*

227. 挑発的行動: 故意に他者を苛立たせる (A-4)

「他の人たちは、あなたがいつもわいわい問題を起こしていると思っていますか。あなたがわざと他人を苛立たせることをしますか。」
⇒ 挑発的行動を報告する。しばしば故意に他人をいらだたせることをする 4 3 2 1 227 OP*

228. 飲酒:

「あなたは、今までにビール、ワイン等のお酒を飲んだことがありますか（両親と夕食で飲む場合を除いて）、または、ハイになるために薬物を常用したことがありますか？」
⇒ アルコールかつ/もしくは薬物を使用したことがある 4 3 2 1 228

(もしアルコールかつ/もしくは薬物を使用したことがあるなら、次のように尋ねる):

229-230. 飲酒量、薬物の量:

「どのくらいアルコールを飲みましたか、または、薬物を常用しましたか。」
⇒ かなりのアルコールの使用を報告する (さらに診断を追求しなさい) 4 3 2 1 229
⇒ かなりの薬物の使用を報告する (さらに診断を追求しなさい) 4 3 2 1 230

231. 警察・裁判所沙汰:

「あなたは今までに警察を訪ねたことがありますか。あなたは今までに家庭裁判所に行ったことがありますか。以下のようにたずねる):」
(もしあるのなら、以下のようたずねる):
「罪名は何でしたか。家庭裁判所で何がありましたか？」
⇒ 警察もしくは家庭裁判所と接触があったことを述べる 4 3 2 1 231

232. 学校からの呼出し:

「問題を起こして校長先生を訪ねてはいけなかったか？」
⇒ 校長先生と接触があったことを述べる 4 3 2 1 232

現実検討

233. 誇大妄想：
「あなたは、自分が特別なまたは魔術的な力を持っていると思いますか」
⇒ 自分を守る特別な力を持っていると信じている (誇大妄想) 4 3 2 1 233

234. 被支配妄想：
「あなたは、他の人たちが、あなたを支配するより特別なまたは魔術的な力を持っていると思いますか」
⇒ 他の人たちもしくは外部の力が (自分の) 心や動作を支配する、もしくは影響を及ぼすことができると信じている (被支配妄想 (注：被影響体験、させられ体験)) 4 3 2 1 234

235. 錯乱・思考不能：
「あなたは、いつのまにかわけがわからなくなり、考えることができなくなりましたか。」
⇒ 錯乱・思考不能を認める 4 3 2 1 235

236. 幻聴：
「私たちは、ときどき想像が私たちにいたずらしているのかと思えるようなことを見たり聴いたりします。そういうことが今までにあなたに起こりましたか。そのことについて話してください。(何を聞きますか、何を聴いて、そして、その声は何を言いますか。)」
236. 幻聴：
⇒ 幻聴を述べる、もしくは他の人たちが見えないものを知覚すると言う (幻聴)。 4 3 2 1 236

237. 幻視：
⇒ 外部の刺激が何も確認することができないのに聴覚的知覚を述べる、もしくは、他の人たちが聴かない音かつ/もしくは声を聴くと言う (幻聴)。 4 3 2 1 237

⇒ あてはまれば Yes:1 に、それ以外は NS:3 に○印する

- a. 幻視は (人のような) 形のある像についてのものである 4 3 2 1 238
- b. 幻聴は声である 4 3 2 1 239
- c. 声は、脅したり、批判したり、からかったりしてくと述べる (被害妄想) 4 3 2 1 240
- d. 声が、自分の優越性、力、もしくは誇張と見えるほどの知識を言ってくる、もしくは他の人よりはっきりと優れていると感じさせると述べる 4 3 2 1 241
- e. 「人や物が歪んでもしくは大きさが違ってみえる」と述べる (錯覚) 4 3 2 1 242
- f. 周囲が非現実的または夢のようであると述べる (現実感消失) 4 3 2 1 243

244. コントロールを失うことに対する、または気が狂うことに対する恐怖：

「正気を失うことや気が狂うことがいつも心配ですか」

⇒ 正気を失うこともしくは感情のコントロールを失うことを心配していると述べる

4 3 2 1 244

パートⅡ：発症と持続期間に関する情報の収集

面接者に対する指示：

いくつかの診断のために、障害の発症と持続期間のための診断基準がある。他の 2、3 の診断において、症状の頻度と広汎さに関して情報が必要となる。

詳しい情報が必要となるそれらの診断は、質問項目に、アスタリスクと診断の略語コードで示されている。

子どもとまだいる間に、面接者は該当するアスタリスク付きの項目があるかどうかすばやく探し、記録しなければならぬ。Yes と答えられたアスタリスク付きの項目が 1 つ以上ある診断カテゴリーについては、面接者はその診断カテゴリーについて以下にあげてある質問を尋ねる必要がある。例えば、全般的な不安障害について、1 つでもアスタリスク付き項目に該当した場合、「○○ちゃんは、うまくやれているかどうか、そして将来もうまくられるかといったことについて、動揺し心配だ、と言っていましたね、どれくらいの間こられることを心配しているか、教えて下さい。」などのように質問していく。1 つの診断名につき全てのアスタリスク付き項目について質問することは必ずしも必要ではない。むしろ、関連する診断について全般的に説明を求め、持続期間、発症などを聞くことが必要であるということに注意する。

(発症と消失：該当する病態及び問題行動すべてについて、その発症時期、発症の確度、消失時期、消失の確度を別紙に記入する。)

子どもに対する追加質問開始：

「今日はいろいろお話を聞かせてくれてどうもありがとう。○○ちゃんにいろいろと教えてもらったことの中で、もう一回念のために聞かせてもらいたいことがあるので、もうちょっとお話をさせてもらっていいですか」

245-246. 注意欠陥障害 (ADHD) の持続期間：7才以前の発症かどうか(b)、6か月以上の持続か (A) どうかを確認する

「このこと (例えば、多動、注意集中困難) に問題があるのはどれくらいになりますか」

「この問題が始まったのは、何歳の時でしたか [2年生のころからですか、幼稚園のころからですか] また、こういった問題がなくなったのはいつですか」

最初 年 月 日 (西暦で記入)
最後 年 月 日

F/ NS Amb T/
No: 4 3 2 Yes: 1

4 3 2 1 245
4 3 2 1 246

⇒ 6か月以上の持続 (AH:A)

⇒ 7才以前の発症 (AH:B)

247. 行爲障害 (CD) の攻撃的行動の持続期間：(CD:A)

「他の人 (または他の人の所有物) を傷つけたり脅したりなどに問題があるのはどれくらいになりますか」

「こういった問題はいつからですか。」

「最後に、こうしたことのうちどれかをしたのはいつですか」

最初 年 月 日 (西暦で記入)
最後 年 月 日

⇒ 基準の3つ以上が過去12か月の間に存在し、基準の少なくとも1つは過去6か月の間に起こっている

4 3 2 1 247
(248は省略)

249-250. 行爲障害 (CD) の非攻撃的行動の持続期間：(CD:A)

「学校や家のきまりを守らないこと (例えば、学校をさぼる、家出、嘘つき、窃盗) に問題があるのはどれくらいになりますか」

「こういった問題はいつからですか。」

「最後に、こうしたことのうちどれかをしたのはいつですか」

「こうしたことは一度だけ起こりましたか」

(もし2回以上ならば以下のようにつきまさない)

「そのことについて話してください」

最初 年 月 日 (西暦で記入)
最後 年 月 日

⇒ 基準の3つまたはそれ以上が過去12か月の間に存在する (CD:A)

4 3 2 1 249
⇒ 基準の少なくともひとつは過去6か月の間に起こり、そして繰り返す病歴がある (2回以上) (CD:A)
4 3 2 1 250

250ab. 行為障害 (CD) の単独型・集団型：攻撃的なものでも、非攻撃的なものでも、問題行動が本人自身によって開始されるのか、それとも主に仲間との集団活動として起こるかを確認する

「こうした事をする時は、いつも一人ですか。[もしくは一緒にぶらぶらしている他の子たちとですか]」 (註：攻撃的なものでも、非攻撃的なものでも、適用する)

⇒ 単独型 問題行動が本人自身によって開始され、仲間との集団活動として起こるのではない

⇒ 集団型 仲間との集団活動として起こる

251. 分離不安 (SA) の持続時期：4週間以上の持続かどうかを確認する (SA:B)

「この問題があるのはどれくらいになりますか (例えば、両親のいずれかから離れるときの動揺、離れているときの心配)」

「この問題 (両親のいずれかから離れるときの動揺、離れているときの心配) はいつからですか。また、こういった問題がなくなったのはいつですか」

最初 年 月 日 (西暦で記入)
最後 年 月 日

⇒ 4週間以上の持続 (最近の4週間でなくてはならない) 4 3 2 1 251

252. 分離不安 (SA) の発症のきっかけ：分離不安が非現実的であることを確認するために聞く。発症時期と合わせて聞いてもよい。

「この問題が始まった頃に何かできごとがありましたか (迷子になったとか、誘拐されそうになった、とか)」

⇒ 分離不安が非現実的である：愛着をもっている主要人物に危険がふりかかるのではないかという心配、もしくは愛着をもっている主要人物から分離することになるだろうという心配が非現実的である。最近の現実的な心配によるもの (註：迷子とか誘拐とか) であるという説得力のある証拠がなければ、Yesとする

4 3 2 1 252

253. 全般性不安障害 (Ov:GAD) の持続時期：6カ月以上の持続かどうかを確認する (GAD:A)
「この問題があるのは (またはこのように心配するのは) どれくらいになりますか (例えば、とても心配する)」

「この問題はいつからですか。また、こういった問題がなくなったのはいつですか」

最初 年 月 日 (西暦で記入)
最後 年 月 日

⇒ 6カ月以上の持続 (GAD:A) 4 3 2 1 253

253ab. 全般性不安障害 (Ov:GAD) 発症のきっかけ：不安が非現実的であることを確認するために聞く。発症時期と合わせて聞いてもよい。

「この問題が始まった頃に何かできごとがありましたか」

⇒ 不安が非現実的である 4 3 2 1 253a

⇒ 分離不安だけではではない、不安は分離の問題についての心配だけによっているのではない (GAD:D) 4 3 2 1 253b

(254. は省略)

255. 反抗・挑戦性障害 (OP) の持続時期：6カ月以上の持続であることを確認 (OP:A)

「この問題があるのは (またはこのようになっている) どれくらいになりますか (例えば、よく口論することによって困ったことになっている、先生や両親の言うことを聞かない)」

「この問題 (先生や両親の言うことを聞かない) はいつからですか。 (前の学年の頃も言うことを聞かませんでしたか。今の学年になってからですか)。また、こういった問題がなくなったのはいつですか」

最初 年 月 日 (西暦で記入)
最後 年 月 日

⇒ 6カ月以上の持続 (OP:A) 4 3 2 1 255

256. 遺尿 (EU) の頻度：

「おねしょやおもらしをすることは、どのくらいしよちゅうありますか」

頻度を記入： 回/月
⇒ 週に2回の頻度で少なくとも連続して3カ月間起こる。暦年齢は少なくとも5歳またはそれと同等の発達水準にある。 4 3 2 1 256

257. 遺糞 (EV) の頻度：1カ月に1回以上かどうかを確認する

「うんこをもらすことはどのくらいしよちゅうありますか」

頻度を記入： 回/月
⇒ 少なくとも3カ月の間に、少なくとも月に1回ある。暦年齢は少なくとも4歳またはそれと同等の発達水準にある。 4 3 2 1 257

258-261. 抑うつ気分の特続期間：DY (気分変調症) については1年以上、DE (大うつ病) については2週間以上かどうかを確認する。

抑うつ的な感情の状態 (DY: 気分変調性障害、DE: 大うつ病) の特続期間を確認する。
面接者に対する指示

：以下のいずれが存在しているならば、うつつに關して、尋ねなさい。

→ 142, 143 (DY*とコード化); 151, または 152 (DE*とコード化)

：始める前に、面接者は、うつ気分(すなわち、項目 142 か 143) または アンヘドニア(すなわち、項目 2, 29, 37 または 146) が子どもの状態の最も顕著な特徴であるかどうか、を決めなくてはならない。

：もし、不快気分が最も顕著な特徴であるならば、子供に悲しみ/いらいらに關して尋ねなさい。アンヘドニアが最も顕著な特徴ならば、その時は、子供にふだんの活動における彼女の興味の喪失に關して尋ねなさい。

「ほとんどの時間に悲しみを感じているのは (かつ/または何もおもしろくない、または抑うつ、憂うつ、つまらなく感じているのは)、どれくらいになりますか?」

「ずっと悲しく感じている (または苛立つ、ところが空っぽと感ずる) のは、いつごろからですか。 (この学年になったころからですか、1学期のころからですか、夏休みに入ってからですか)。また、こういった感じがなくなったのはいつですか?」

最初 年 月 日 (西暦で記入)
最後 年 月 日

(258, 以後)

⇒ 1年以上の特続 (DY:A) 4 3 2 1 259

(もし、悲しみかつ/またはアンヘドニアの構話が少なくとも、1年前のことにさかのぼるならば、次のように尋ねなさい) :

260. 気分変調症 (DY) の特続期間の確認：症状なしの時期が2か月以上続くことはないことを確認する。

「良い気分るときはありますか。それはどのくらい続きますか。 (夏休みの間中とか、お休みのとき、とか)」

か 月 週 日 (数字を記入)

⇒ 経過：持続的に抑うつ気分；一度に2ヵ月を超える期間、基準AおよびBの症状がなかった時はない (DY:C) 4 3 2 1 260

258. 大うつ病 (DE) の症状の確認：

「ここ2-3週間くらいずっとほとんどすべての時間、悲しみ (かつ/またはおもしろみのなさ、いらいらする) を感じていましたか?」

⇒ 最近2週間以上の特続 (DE:A) 4 3 2 1 258

261. 悲哀反応の除外：死別等の悲嘆による反応ではないことを確認する (それまでに情報が得られれば、質問しない) (DE:E)

「悲しい気分が始まったころ、何か悲しい事があったのですか。 (誰か親しかった人が亡くなったたり、病気になるたりしたのですか)」

⇒ 死別によるものではない：悲しみは悲哀反応だけによるものではない (すなわち、悲しみが抑うつによるもので、悲哀反応によるものでないとき yes とする) (DE:E)

4 3 2 1 261

面接終了

「これで質問は終わりです。長い間お話ししてくれて、今日は本当にどうもありがとうございます。」

261a. 広汎性、精神病性、器質性障害：

⇒ 面接者の判断であり、子どもへの質問はない。子どもは、多くの領域の機能にまたがって著しい障害があることが明らかである (すなわち、広汎な障害である)。子供は以下の診断基準のいずれかを満たすかもしれない：広汎性発達障害、自閉性障害、精神分裂病、いづれかの他の精神病性障害、もしくは器質的精神障害。

4 3 2 1 261a

パートⅢ：観察による評定

F/ NS Amb T/
No.:4 3 2 Yes:1

以下に挙げたのは(子どもに対する)面接者による観察によって評定されるべき項目である。患者に尋ねる付随の質問はない。親版のCASにはこれに対応する部分はない。

F/ NS Amb T/
No.:4 3 2 Yes:1

262<洞察>:
⇒ 自分への問題への洞察がほとんどあるいはまったくない 4 3 2 1 262

263<身繕い>:
⇒ 身繕いが悪い(髪の毛が梳かしてない、服が汚れている、あつていない、もしくは破れている) 4 3 2 1 263

264<協調運動>:
⇒ 運動の協調が悪い 4 3 2 1 264

265-271<活動レベル、注意持続時間、衝動性>:同じ精神年齢の子どもと比べて、かなり、より頻繁であるときだけ、それを「yes:1」と評定する。

⇒ 落ち着きがない、そわそわし、じっと座っていることができない(A2a:AH) 4 3 2 1 265 AH*

⇒ そうするべき時でも席についていられない(A2b:AH) 4 3 2 1 265a AH*

⇒ 粗大運動の活動における活動レベルの高さ(たとえば、走りまわったり、高い所によじ登ったり、歩きまわったり、あちこち動きまわる)(A2c:AH) 4 3 2 1 266 AH*

⇒ 活動が順序立てられていないようにみえる、目的のある行動がとれない(A1e:AH) 4 3 2 1 267 AH

⇒ 注意持続時間が短い(例えば、注意を持続することができない、ある活動から別の活動へすぐ移る)(A1b、A1d:AH) 4 3 2 1 268 AH

⇒ 構造化されていない状況での注意持続時間の悪化(A1h:AH) 4 3 2 1 269 AH

⇒ 衝動性(例えば、不注意で、ずさんで、すぐに報酬を求め、質問が終わっていないのに答えるか話し出す、あきらかに衝動的に速く応答する)(A2g:AH) 4 3 2 1 270 AH

⇒ 欲求不満耐性の低さ(例えば、欲しいものや必要なものが満たされなない時は苦痛になる) 4 3 2 1 271

272<認知能力の評価>:
⇒ 境界知能、もしくは精神遅滞にみえる 4 3 2 1 272

273-289<言語的コミュニケーションの質(会話、思考の論理)>:
⇒ 会話が解体している、もしくは減退である。即時そして遅延性の反響言語、隠喩的な言葉(註:その子どもとのコミュニケーションの形式をよく知っている者だけがはっきりと理解できるような言語)、代名詞の逆転も含む) 4 3 2 1 273

⇒ 話すのが遅い、もしくは答えるまでの間が長すぎる(A5:DE、Bの代案:DV) 4 3 2 1 274

⇒ 会話の異常(疑問文のような抑揚、単調な声のような) 4 3 2 1 275

⇒ 吃音(がある) 4 3 2 1 276

⇒ 保続(自分の単語や句を機械的な持続的な繰り返し、たとえば、“行っちゃった、行っちゃった”)

⇒ 観念の飛躍(あることについて話しているかと思うと、そのことについて話し終わらないうちに次のことを思い付けてそのことについて話だす) 4 3 2 1 278

⇒ 連合弛緩(関係のないことを結び付ける:例“私アイスクリームが好き、私のシャツは破れている”) 4 3 2 1 279

⇒ 取りとめなく話す:漫然と話す 4 3 2 1 280

⇒ 無関係(質問に、尋ねられたことと関係ない答えで、応じる) 4 3 2 1 281

⇒ 詳しさ(答えに過度か不要な詳細を加える。) 4 3 2 1 282

⇒ 故意に、話題をかえたり、もごもごと話したり、一貫してわからなない答えて質問に答えることを避ける 4 3 2 1 283

⇒ ほとんどの質問に対して言葉で答えない 4 3 2 1 284

⇒ 質問に一言だけで、あるいは短いフレーズで答える 4 3 2 1 285

⇒ 話し方が非常に速い、割り込みめない、長く話し続ける 4 3 2 1 286

⇒ もごもご言う、もしくは独り言を言う 4 3 2 1 287

F/ NS Amb T/
No.: 4 3 2 Yes: 1
4 3 2 1 288
4 3 2 1 289

⇒ 高い声で言う、わめく、もしくは叫ぶ
⇒ 悪態をつく；のしるような言葉を使い続ける

290-298 <情緒的表現の質>:

⇒ 悲しそうに見える；気落ちしたような格好で座っている(A1:DE, A:DY)
4 3 2 1 290
D
⇒ 泣きそうに見える、または泣いている(A1:DE, A:DY)
4 3 2 1 291
D
⇒ 表情に感情をあらわさない
4 3 2 1 292
⇒ 赤面する、汗をかく
4 3 2 1 293
⇒ 笑うのが不適切な話題のときに笑う
4 3 2 1 294
⇒ 面接中ずっと怒っているようにみえる
4 3 2 1 295
⇒ 面接中に気分が大きく変化する
4 3 2 1 296
⇒ びくびくしているあるいは心配しているようにみえる
4 3 2 1 297

(OV, GAD: CI)

⇒ 恥ずかしがっているようにみえる
4 3 2 1 298
OV: GAD
299-311 <体の動きと行動>:
⇒ 面接者を見ない、ずっと目を閉じている
4 3 2 1 299
⇒ 動きが非常に速い(A5:DE, Bの代案:DY)
4 3 2 1 300

D
⇒ 同じ姿勢を保っていて動かない、姿勢を変えない
4 3 2 1 301
⇒ わけもなく奇妙な姿勢をとる
4 3 2 1 302
⇒ 儀式的で反復的行動(A compulsion(1):OC)
4 3 2 1 303

OC

⇒ 身体をかきむしる
4 3 2 1 304
⇒ 歩きまわる、手をもみしぼるような動作
4 3 2 1 305
⇒ おもちゃを投げつけるような、面接している部屋の中にあるものの何かを故意に損傷をする
4 3 2 1 306
⇒ 自慰的行為をする
4 3 2 1 307
⇒ 公然と性的に挑発的な行動をとる(たとえば、服を脱ぐ、もしくは性器を露出する)
4 3 2 1 308
⇒ 髪、毛、肌、衣服、もしくは他のものを触る、指しゃぶりなど自慰ではない行動
4 3 2 1 309

F/ NS Amb T/
No.: 4 3 2 Yes: 1
4 3 2 1 310
4 3 2 1 311

⇒ 面接終了前に面接室を去ろうとする
⇒ 反復的な不随意的な無目的な運動の存在(常同運動；チェック)

312-320 <対人的相互作用の質に懸念する副課題>:

⇒ ラポールは質は表面的にみえる(例えば、ラポールに関心が無い) 4 3 2 1 312
⇒ 他者の感情に対する思いやりがないようにみえる、適切な罪と良心の呵責を十分もっていないことを含む(関連する記述的特徴:CD)
4 3 2 1 313
CD
⇒ 操作的で搾取的にみえる(例えば、すぐに利益が得られそうにない限り、他人のために一生懸命になることはない)(関連する記述的特徴:CD)
4 3 2 1 314
CD
⇒ 過度に従順であり、賛同を求める
4 3 2 1 315
⇒ ラポールを解くことが難しく、反抗や特定の問題の回避や思考障害とは全く異なって、恥ずかしがりのためであるようにみえる
4 3 2 1 316
⇒ ラポールが表面的である、対人関係における重大な機能障害に付随しているものである
4 3 2 1 317
("あなたと患者とのあいだにはまるで壁があるように感じる")
⇒ 頑固で反抗的(A3:OP)
4 3 2 1 318
OP

⇒ 口論好きで、挑発的で、喧嘩好き (A2:OP)
4 3 2 1 319
OP
⇒ 親または愛着をもっている人物からの分離が困難(A1:SA)
4 3 2 1 320

パートIV(オプション)：臨床的印象

概要

名前 _____
ID 番号 _____
性別 _____
年齢 _____
人種 _____
生年月日 _____
情報提供者 _____
インタビュアー _____
実施月日 _____

子どものラポール (丸でかこむ)

_____ 良好 ・ 満足できる ・ 悪い

インタビューは有効なものでしたか?

_____ はい ・ いいえ

有効でなければ...なぜ有効でなかったのですか:

_____ 行動評定での評価でとえられなかった注目すべき行動観察について述べてください:

